2019年３月発行

カーネーション はなだより

No.014

社会福祉法人 聖隷福祉事業団　〒656-2311 兵庫県淡路市久留麻1863番地
聖隷カーネーションホーム　TEL:0799-74-6175
聖隷ケアプランセンター淡路　TEL:0799-75-2075
聖隷在宅介護支援センター淡路　TEL:0799-75-2100
障害者相談支援事業所 聖隷はぐくみ　TEL:0799-75-2105
FAX:0799-74-6176（共通）

聖隷カーネーションホーム　入居

津名のたこせんべいの里への外出を行いました。たくさんの種類のおせんべいに入居者様も笑顔いっぱいになり、気に入ったものを買い物されてたいへん喜ばれていました。長めのドライブも入居者様にとっては景色を眺められる特別な時間になったと思われます。また、２月の寒い日に足湯を楽しんでもらえるように「足湯カフェ『湯ったり』」を開催しました。好きな入浴剤と飲み物を選んでもらい、心身ともにぽかぽかあったまり、ゆったり過ごしていただけたのではないかと思います。

聖隷カーネーションホーム　デイサービスセンター

新年を迎えるにあたって、デイサービスのご利用者様と一緒に門松を作りました。立派な門松ができて、とてもよろこんでいただけたとともに、「よい新年を迎えることができた」ともおっしゃっていただけました。また、伊勢久留麻神社に初詣に行き、今年１年の健康を祈願してきました。

聖隷福祉学会に参加しました

平成30年11月10日（土）に淡路市サンシャインホールにて第11回淡路地区聖隷学会が開催されました。この学会は聖隷福祉事業団の病院・施設・在宅分野の各事業所が取り組んできた事を発表し、学びの共有や相互交流、地域の方々をお迎えし、地域交流を目的に行っています。当施設の聖隷カーネーションホームデイサービスセンターから「棒体操を用いた３ヶ月の取り組み報告」について発表しました。また、平成31年２月23日（土）に浜松で開催された第17回聖隷福祉学会にも参加し、優秀賞を受賞いたしました。今回の学会参加をきっかけに、デイサービスで実施される機能訓練の効果や課題をより明確にし、日々の業務で求められるデイサービス作りになるような体制づくりを職員一同、取り組んでいく所存です。これからもよろしくお願いいたします。

第3回 介護職員初任者研修 修了報告

2018年10月２日に、第３回「介護職員初任者研修」を開講しました。先日2019年２月５日には全受講生が無事に修了できました。皆様、週２回の講義を一度も休むことなく半年間で、計130時間の講義に出席されました。各講師陣から、その熱心さに関心させられたと多数報告を受けております。今回の受講生は皆様、介護に関わる仕事をされており、今後この経験を活かしこころざしをもって『介護』に関わっていただけることと思われます。

次年度も、第４回開講を目指し、今から準備していきたいと思いますので、お近くに興味のある方がいらっしゃればぜひ受講をおすすめしていただければと思います。　　聖隷カーネーションホーム　運営管理課

１年間を振返って

聖隷カーネーションホーム 入居
年間行事の紹介

園内での行事

４月	お花見、お花見ランチ
６月	そば打ち作り
７月	七夕まつり（流しそうめん）
８月	夏祭り（屋台めぐり・かき氷）
９月	敬老会
10月	秋祭り
11月	運動会（玉入れ、ボール運び等） いもきんとん作り
12月	忘年会（すき焼き） クリスマス会
１月	初詣（久留麻神社、かぁね神社）
２月	節分（鬼退治、豆まき） 足湯カフェ　『湯ったり』
３月	ひなまつり

家族介護者交流事業に参加して

聖隷在宅介護支援センター淡路

淡路市地域支援事業の一つとして【家族介護者交流事業】があります。

この事業は、自宅で介護をされているご家族様等が施設見学や食事会を通して心身のリフレッシュを図り、介護者相互の交流を深める事を目的としています。

昨年 11 月に行われた交流事業は宝塚市にある高齢者施設の見学を行いました。

見学先の施設担当者への質問時間や、その後の食事会、バスでの移動時間は短い時間の中でも話が弾み、楽しい時間となりました。

参加は岩屋地区・東浦地区・北淡地区在住で高齢者の方等を介護されているご家族様であれば可能ですので、聖隷在宅介護支援センター担当者までお気軽にご相談ください。

高齢者施設職員より
説明を受けました

ご入居者さま外出紹介

＜職員より＞

ご入居者様の「家へ帰りたい」という思いを受け、自宅への外出支援を行いました。

ご高齢で普段は体調が優れないことがある中、帰宅し仏間へ入るとしっかりと手を合わせておられました。私に「お茶飲んでいって」と気遣ってくださり、家を切り盛りする“お母さん”の一面が垣間見えました。

外出当日には、ご家族様がご本人の好きなお花で庭を飾ったり、お仏壇のお供えを用意してくださりました。

＜ご家族様より＞

長年、家のことを一人でやってきた人ですから、施設入所後も家に帰ることができてよかったと思います。身体がしんどかったり、家にずっといられないことに対して不満もあったかもしれませんが、家に帰りたいという気持ちがずっとありましたから。職員の方の助けがあって、実現できたことはとても感謝しています。

職場紹介　聖隷はぐくみ

聖隷カーネーションホーム内に障害者相談支援事業所『聖隷はぐくみ』が立ち上がり、早２年が過ぎました。職場紹介のコーナーで業務の内容などを紹介させて頂きます。

私たちは、淡路市にお住まいの障がいのある方やご家族様等からの相談を受けて、生活での困りごとをお聞きし、解決するために共に考え、希望する障害福祉サービスのコーディネートをします。また、そうすることで利用者様やご家族様が住み慣れたご自宅で安心して生活ができるように、サポートしています。

ご相談がありましたら、窓口での相談や希望に応じてご自宅に訪問する事もできますので担当者までお気軽にお問合せ下さい。

相談支援専門員
繁田　晴美

2018年度(平成30年度)振り返り

皆様方におかれましては、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、当施設のことにつきまして日頃よりご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

まもなく平成30年度が終わろうとしていますが、今年度の聖隷カーネーションホームでは、「安全・安心を提供し続けられるためのサービスの質的向上」、「多様な福祉人材が活躍できる環境整備」、「効率性・生産性の向上」等に注力し、サービス面では医療依存度の高い方や重度の認知症の方への対応力の強化、在宅生活継続のためのリハビリ・機能訓練の充実等に努めて参りました。多数の関係者の皆様のご支援や職員の努力・工夫により、一定の進捗が見られましたが、まだまだ改善・改良すべき点は多く、現状に甘んじることなく課題を再度整理し、新年度につなげていこうとしております。

平成から新しい元号に替わる新年度におきましては、事業目標を①利用者満足の向上、②職員の資質と働き甲斐の向上、③経営基盤の更なる安定化、④地域への貢献、の4点に集約し、「年齢や障がいの有無に関係なく、利用者も職員も共に幸せになる（＝ともに咲き続ける）」ことができる施設を目指して、職員一同鋭意努力を重ねて参る所存です。

至らぬ点も多々あろうかとは存じますが、皆様方におかれましては、今後も旧来同様にご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

聖隷カーネーションホーム　園長　田　村　　健

平成30年度 苦情報告

平成30年４月～９月

○短期入所をご利用後、帰宅された際、ご本人の車椅子に使い古されたタオルが敷かれているのをご家族が発見、ご家族がご本人に確認したところ、「それでお風呂の時に頭を拭かれた」とご家族に話される。ご家族から、このような古くなったタオルを入浴の時に利用しているのは、施設の接遇としてどう考えているのかとお問い合わせがあった。

（2018年６月19日）

回答

ご不快な思いをさせて申し訳ありませんでした。職員に確認しましたが、車椅子に敷かれていたタオルは入浴時に使用しておらず、それではなぜ車椅子にタオルが敷いてあったのか、どの職員がどういったタイミングで車椅子に敷いていたのかは分かりませんでした。「誰が」「なぜ」「どのような時に」を説明できるよう努めてまいります。また、今までも古くなったタオルは捨てていましたが、そういった対応を職員間で統一できていませんでした。今後は定期的に更新していくよう周知徹底いたします。

（2018年６月23日）

編集後記

やわらかな春の日ざしが心地よく感じられる季節になりましたが、おかげさまで聖隷カーネーションホームは、2019年４月で５周年を迎える事になります。今年度は園長の交代や、デイサービスに作業療法士が加わる等、施設に新しい風が吹いた１年でした。また、イベントや外出はもとよりご利用者様の生活の様子をできるだけ紹介できるよう心がけました。このように広報誌をお届けできるのも、日頃から聖隷カーネーションホームを支えてくださる皆様のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈りするとともに、引き続き新年度もよろしくお願い申し上げます。

2018年度広報委員
1年間ありがとうございました

※この広報紙に掲載させていただいたお写真はすべてご本人様・ご家族様のご了解をいただいています。